

# 新競争時代に向けて、着実な前進

## 富士ファーストクラブの発売開始



「銀行のサービスはどこも似たようなもの」こんな思い込みをしている方が、まだ多いようです。しかし金融ビッグバンがスタートし、銀行のサービスも大きく様変わりしつつあります。

「富士ファーストクラブ」(平成10年3月サービス開始)は、こうしたビッグバン時代に向けて、当行が“他にはない、より優れたサービス”を目指して開発した、メンバーズクラブです。

金融サービスはもちろん、わが国の銀行としてははじめて、銀行サービスの領域を超えた“非金融サービス”の提供も実現し、お客さまの多様なニーズに応えられるよう、さまざまなサービス特典をパッケージにしました。

サービス特典は、大きく次の4つに分けられます。

給与や年金の受け取り、公共料金やクレジットの口座振替などの取引をポイントに換算し、毎年ポイントに応じたギフトカード(最高5万円)をお贈りする【ファーストクラブ・ポイント】

各種ローンの金利や手数料を優遇する【金利・手数料優遇】

世界の一流ブランド品がディスカウント価格で購入できるほか、世界の有名ホテルが50%割引で宿泊できたり、海外パッケージツアーや格安航空券を5%割引で申し込める【ライフスタイル・アドバンテージ】

自宅や会社にながら、残高照会や振込・振替などができる

【ファーストクラブ・テレホンバンキング】

当行を利用されている個人のお客さまに、「利用すればするほどもっと満足していただける価値」を提供し、当行との信頼関係を一層強化することを目指しています。



## 富士インターナショナル キャッシュカードの発売開始

平成9年11月に、わが国の銀行としては全く新しいサービスとして、海外のATMで現地通貨が引き出せる「富士インターナショナルキャッシュカード」を発売しました。



キャッシュカードを国内でいつでもおりにご利用いただきながら、世界100カ国以上、約36万台にもおよぶ世界最大級のATMネットワーク「シーラス」と提携することで、海外のATMでも通用するまさに「国際的なカード」を実現しました。

海外旅行や出張などの際、多額の現金を持ち歩いたり、出発前に何種類もの通貨を準備する必要がなくなり、大変便利になりました。同時に、この1枚のキャッシュカードで「富士スーパー総合口座」と「富士スーパー貯蓄預金」のそれぞれの機能をカバーしていることも大変好評です。

すでにこのカードの発行枚数は約6万件を超えており、平成10年4月末現在、また80カ国以上の国でお客さまにご利用されています。

## 富士テレホンバンキングのサービス開始

自宅や会社にいながら、フリーダイヤル(通話料無料)一本で残高照会や振込・振替、定期の作成や満期解約・書替、住所変更などの各種届出、預金やローンなどの各種相談ができる、「富士テレホンバンキング」がスタートしました。(平成9年9月)

郵送で簡単にお申し込みできるほか、ご契約にかかわる契約料などは必要ありません。さらに、照会や各種届出・相談、各種資料・メールオーダーの請求、スーパー総合口座の定期預金作成などについては、ご契約なしに今すぐにもご利用いただけます。

すでに、1日当たりの利用件数は平均約6千件に上るサービスに成長しています。

## 投資信託の間貸し販売スタート

平成10年12月に解禁される銀行本体での投資信託販売に先立ち、当行の系列の富士投信投資顧問(株)が当行支店のロビーの一部に窓口を設置し、投資信託の販売を開始しました。(平成9年12月)





現在、本店・八重洲口支店・大阪駅前支店・鎌倉支店・吉祥寺支店・多摩センター支店の計6カ店で実施しており、富士投信投資顧問(株)が設定運用する、7本の投資信託を販売しています。

また、銀行本体での販売に向けても、昨夏米国の有力な金融コンサルタントである、フリーマン・アンド・カンパニーと提携し、国内外の投資信託を評価・選定する準備を進めています。

## 全店での外国為替取り扱い開始

平成10年4月より「外国為替及び外国貿易法」(以下改正外為法)が施行されました。この外為規制緩和により、法人のお客さまにとっては国内における「外貨建取引」の増加や、海外との決済の多様化が一層進展するとともに、個人のお客さまにとっても「海外送金」や「外貨預金」へのニーズが急速に高まるものと予想されます。

当行では、外為取引がより身近になることで、“最寄りの支店を利用したい”というお客さまの新たなニーズにいち早くお応えするために、全店での外為業務の取り扱いを開始しました。

当行は従来より、全国の支店で受付けた各種外為書類について、イメージ処理技術を活用した本部集中処理を実施しており、また平成9年7月には、決済のプロセッシングセンターが完成したことで、全店での外為業務取扱が実現しました。

ただし、大島駅前支店・鎌取支店・八千代緑が丘支店は除きます。

## 富士グローバル・キャッシュ・マネジメント・サービスの機能強化

外為規制緩和の進展により、企業の外為取引に関する決済方法の多様化が進んでいくことが予想されます。当行では、こうした企業の外貨決済取引を積極的にサポートしていくために、富士グローバル・キャッシュ・マネジメント・サービスを活用した、資金集中管理の機能を大幅にレベルアップしました。

送金指示受付・口座残高入出金明細や取引明細照会はもちろん、信用状の発行や変更依頼、資金繰管理機能なども追加されました。





今後さらに、ネットイングやプーリング、欧州通貨統合対応などの機能拡充に努めていきます。

## 海外優先証券の発行

平成10年3月、当行は海外子会社を設立し、海外市場において米ドル建て永久非累積型優先証券16億米ドルを発行しました。

この優先証券の発行により、為替相場の変動による影響を受けにくい外貨建ての自己資本を増強させることができました。

## 米国金融子会社ヘラー社の 新規株式公開

当行の米国金融子会社Heller Financial, Inc.(以下ヘラー社)は、米国証券取引委員会への株式公開申請を経てニューヨーク証券取引所に、平成10年5月1日上場しました。これは、新株発行形式によるものであり、発行総額は約10億米ドルとなりました。

この株式公開は、ヘラー社におけるエクイティーを含めた調達手段の多様化、ニューヨーク証券取引所上場による知名度向上などを狙いとして実施したものです。これによる業務基盤の拡充を通じ、今後ヘラー社では競争力の一段の強化と業容の一層の拡大を図っていきます。

ヘラー社は、米国ドルマーケット業務参入などを狙いとして当行が昭和59年に買収したファイナンスカンパニーで、当行本体での参入が困難なマーケットやプロダクト分野において、当行本体の機能を補完する海外業務戦略上重要な子会社です。